

田 富 小 だ よ り



今年度取組の重点項目・具体目標・評価基準

田富小学校では、学校評価を学校運営の中心に位置付けています。今年度中に目に見える結果を出したい重点項目を11選び、全教職員で分担してその実現に向けて取り組んでいきます。16の具体目標を決め「ここまで行けたら今年度は達成」という評価基準（評価方法と指標）を職員と相談しました。さらに、学校運営協議委員の皆さんからも意見をいただく中で次のように設定しました。

	重点項目と具体目標	評価基準(評価方法と指標)
1	自立への基礎 <ul style="list-style-type: none"> ●目標をもって学校生活を送り、振り返りにより自己の成長や新たな目標に気づく児童の育成。 ●基本的な生活習慣を身につけた児童の育成。 ●自分の命を守ることができる児童の育成。 ●みんなのために働くことができる児童の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価の児童アンケート「あなたは、目標をもって学校生活を送っていますか。」の項目に対し、「そう思う」と回答する児童を60%以上にする。 ○保護者へのアンケートで、休日に2時間以上ゲームやインターネットをしている子を15%以下に、平日に1時間以上している子を20%以下にする。 ○自転車のヘルメットの所有率を60%、装着率を50%以上にする。(昨年度末35%) ○学校評価の児童アンケート「あなたは校内をきれいにしようと取り組んでいますか」の項目に対し、「そう思う」と回答する児童を98%以上にする。 ○学校評価の児童アンケート「あなたは学級のために当番活動や係活動に取り組むことができたか」の項目に対し、「そう思う」と回答する児童を95%以上にする。
2	聞いて考え、語り合う子 <ul style="list-style-type: none"> ●話している人を見て、考えながら正確に聞き取ることができる児童の育成。 ●聞いて考えたことを語り合い、学びを広げたり深めたりすることができる児童の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2学期終了時まで、国語の聞くテストで85%の児童が全国平均を上回るようにする。 ○学校評価の児童アンケート「あなたは、授業中、友達の話を聞いて自分の考えをよりよくすることができていますか。」の項目に対し、肯定的な回答をする児童を90%以上にする。
3	読む子 <ul style="list-style-type: none"> ●本が好きな児童の育成。 ●音読したり暗唱したりすることを楽しむ児童の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ○うちどくカレンダーに半分以上○がつく児童を、各学級60%以上にする。 ○好きな詩や物語の一節を暗唱できる児童を、各学級85%以上にする。
4	確かな学力を支える授業 <ul style="list-style-type: none"> ●毎時間ごとのめあての達成に向けて、自ら問いをもち、仲間とともに学び合う授業の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価の児童アンケート「勉強する力が伸びたなあ」の項目に対し、「そう思う」と回答する児童を90%以上にする。(昨年88.8%)
5	自ら学ぶ子 <ul style="list-style-type: none"> ●進んで家庭学習に取り組む児童の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2学期の『家庭学習力のようす』において、「毎日学習している」「ほぼ毎日学習している」と回答する児童を84%以上にする。(昨年全校平均82.6%、低学年86.3%、高学年79.0%) ○学期末の「やってみるじゃんノート」の振り返りにおいて、目標が達成できた児童を65%以上にする。(昨年全校平均58.7%、低学年78.1%、高学年49.7%)
6	心の居場所と支え合う学校生活 <ul style="list-style-type: none"> ●安心して学校生活を送り、気持ちよく活動できる学校作りと支援体制の確立。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価の児童アンケートの「学校が楽しいか」の項目に対し、否定的な回答をする子の割合を5%未満にする。

		○学校評価の児童アンケート「何かあったとき、先生方に話しているか」の項目に対し、肯定的な回答をする児童を90%以上にする。
7	地域とつながるあいさつの活動 ●学校・家庭・地域で、あいさつができる児童の育成。	○学校評価の児童アンケート「あなたのお子さんは、あいさつがよくできていると思いますか」の項目に対し、否定的な回答（あまりそう思わない・そう思わない）を今年度14%以下にする。（昨年度16.2%）
8	共生の教育 ●多様な他者を尊重し折り合いをつけながら目標に向かって共に学び共に活動できる児童の育成。	○学校評価の児童アンケート「誰とでも仲良く協力して活動していますか」の項目に対し、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。
9	体力向上 ●自ら運動に親しみ、体力の向上に努める児童の育成。	○走力の運動能力を高め、50m走で目標タイム（全国平均10月）以上となる児童を65%以上にする。（昨年度60%）
10	食育の推進 ●食に対する関心をもち、健康な体作りに努める子どもの育成	○食に関するアンケートで「嫌いなものでも食べるように努力している。」の項目に対し、肯定的な回答をする児童を90%以上にする。
11	積極的な情報発信と連携 ●保護者や地域に対する積極的な情報発信の実施。	○学校評価の保護者アンケート「学校からの情報発信や連携がよく図られている」の項目に対し、肯定的な回答が引き続き95%以上となるようにする。 ○学校評価の保護者アンケート「あなたは、学校の情報を得るためにホームページやブログを、今年度閲覧しましたか。」の項目に対し、肯定的な回答を80%以上にする。

英語専科が配置されています。

一昨年度から中央市には英語専科の教員が1名配置されています。今年度は、田富中学校の小山田春香先生が田富地区の三校の授業を受け持ってくれています。小山田先生は英語教育の専門家ですので、とても心強いです。昨年度から指導していただいているALTのツナ先生と二人で楽しい雰囲気での授業を行い、子どもたちの語学力を伸ばしてくれています。また、4年生は、昨年度に引き続き田富中のALTのリチャード先生に指導していただけることになりました。

田富小の子どもたちの姿

5年 ドロニモマケズ 田植え

田富小では、まちづくり時習塾の皆さんの御指導の下、毎年5年生が米作りに取り組んでいます。今年度は、6月9日（火）に田植えを行いました。ほとんどの子どもにとって初めての体験です。泥に足を取られながらも、田んぼ全体に苗を植えることができました。社会科の農業の学習にも役立つ体験となることでしょう。



2年 サツマイモの苗植え

6月10日に2組が、11日に1組がサツマイモの苗植えを行いました。自分たちで立派な畝を作りました。1組は、まっすぐな畝ができるようにひもを張る工夫をしました。2組は、小春さんがおじいちゃんに電話をかけ、当日教えに来てもらいました。2年生の主体的に学習に取り組む姿が素晴らしいと思いました。この活動を国語や算数、図工へも学びを広げていく予定です。

